



会議録件名 “夢”まちプロジェクト推進会議（第1回）	主管課 町田市経済観光部産業観光課
日時 2017年1月20日（金） 午後3時00分～午後4時00分	場所 町田商工会議所
出席者 【委員】 大塚議長、井上副議長 米増委員、宮本委員、立木委員、鈴木委員、平本委員 【中心市街地活性化協議会事務局】 町田商工会議所 青島局長、榎本氏、三嶋氏 【市事務局】 遠藤係長、岸本、栗原（産業観光課）	

（2）中心市街地活性化協議会からの報告

・民間交番について

民間交番については、来年度はパトロールの日だけ開けることになっている
⇒来年度中に、今後どうするかを決める予定である

・中心市街地の開発について

長崎屋跡地、小田急北口、森野など開発に関する話題がまちなかである。噂話ではなく、行政からも情報があれば今後提供してほしい
⇒今後報告できる段階になったら情報提供する
⇒まちの情報については、行政・まちの両方が今後情報共有していく

（1）市からの報告

・まちづくり計画各プロジェクト実施スケジュール最新版・更新点の確認

→プロジェクト1のペDESTリアンデッキ下改善の詳細（設計図など）を、中活協の委員に今後説明してほしい

⇒次回会議で市より説明予定

→市の事業予算が決まったタイミングで、中活協とどう連携するか相談してほしい

⇒次回以降会議で市より説明予定

具体的に各プロジェクトのスケジュールをどう進めるかが大事である

・3月実証実験について報告

3月に開催を予定している「町田駅周辺の歩きたいまちづくり実証実験」について、WSでの検討経緯、現時点で計画している道路空間を利用した子どもの遊び場と休憩スペースを設置することを報告。ただ、道路空間を活用するため、警視庁本庁との協議によっては実施できない可能性もある。

⇒実証実験の警察協議の結果を次回会議で市より説明

→次回正副会議で、実験の企画書を提出してほしい。イベントとしてではなく、荷捌き・回遊性の検証も含めた実験にしてほしい。

⇒次回中活協正副会長会議で説明予定

・大学と連携したまちづくりについて

東京家政学院大学より、まちづくりへ協力できないか打診がある

→単なる人工ではなく長期的な連携方法の検討が必要。

⇒ネットワーク多摩も利用するといいいのではないかと。過去にも市内大学に協力いただいた事例がある